

# こうほく・人と生きもの・支えあう会

グループ代表 新堂泰江 〒222-0004 神奈川県横浜市港北区大曽根台 22-14 ☎045-543-5124 ✉shinshin720@hotmail.co.jp

## ★★★ 目次 ★★★

- ⇒ 「3つの大きな問題を乗り越えて」 S.Y. .... p.1
- ⇒ TNR 啓発 / 猫バンバン / 港北区猫ボランティア連絡会報告..... p.2
- ⇒ 管理人日誌 新堂泰江 / 「ブラン君」支援のお願い..... p.3
- ⇒ 「活動の足跡」「会計報告とお礼」「ご寄付のお願い」編集後記..... p.4

### 「3つの大きな問題を乗り越えて」

S.Y.



近所の駐車場で見かける 1 匹のサビネコに餌やりをしたことから、私の活動は始まりました。その前年に近所の縁の下で産まれた子ネコを保護・手術していたこともあり、外に野良ネコがいれば自然と目がいくようになっていました。その駐車場では置き餌をしていく人もいたため、餌やりをしていると数匹のネコが集まるようになりました。

餌やりと手術をしながら半年が過ぎたある日。ふと気になってネコがやって来る方向を辿ってみると、A 施設の前にネコが沢山集まっているのを発見しました。調べてみると、置き餌が原因だと分かりました。この沢山いるネコたちをどうしようかと悩みましたが、とにかく餌をあげながら順番に手術するしか方法はありません。

更に 2 ヶ月ほど過ぎた頃。2 匹のメスが子ネコを産んだことで縄張り争いを始め、それまで餌を食べに来ていた、まだ手術を済ませていないネコたちが散らばり始める事態に。これは自分一人ではとても手に負えないと思い、友人の知人を通して「ニュータウン愛護会」の方々にお手伝いしていただくことになりました。

週に何度も捕獲器を仕掛け、結果なんとか全てのネコたちの手術をすることができました。子ネコはバディどうぶつ病院で里親を探していただき、やっと一段落。かと思いきや、新たな問題が起きたのです。それは、深夜にバイトから帰って来た息子から「B 施設の駐車場の前に子ネコがいる」という話を聞いたのがきっかけでした。親ネコらしきネコもいると聞き、急いで見に行きました。すると、私が A 施設で餌やりをしている手術済みのネコ 3 匹と子ネコ 2 匹がいるではありませんか。どうやら、手術する前に産んだ子ネコの様でした。

「こうほく・人と生きもの・支えあう会」を知ったのは、ちょうどこのときでした。毎日のように子ネコを見に来る私の様子が気になったのでしょうか。B 施設に隣接するお店で働く男性が、会の存在を教えてくれたのです。会の方の子ネコの捕獲に立ち会わせていただき、そうしてその代表を務めていらっしゃる新堂さんと初めてお会いしたのです。

その後、保護した子ネコ 2 匹のうち、1 匹は人慣れさせるのは難しいと言われ、リリースすることになりました。しかし、A 施設で餌やりを続けていても、リリースした子ネコは姿を見せません。心配になって B 施設を見に行くと、駐車場の奥に置き餌があり、リリースした子ネコがいることを確認。B 施設の敷地内ではありましたが、仕方なくその子ネコのため餌やりに行きました。そのうち、A 施設のネコが B 施設に来るようになり、そこで餌やりが続きました。

そんな状況も、突如 B 施設で出された「餌やり禁止」の貼紙のため、1 年ほどで終わりを迎えることに。これまで様々な問題があり何とか解決してきましたが、貼紙を見た瞬間、いよいよ無理だと思いました。とはいえ、ネコたちを放り出すことはできません。私はさすがの思いで新堂さんにご相談したところ、保健所の方と共に B 施設付近にある C 施設へ餌やりの承諾をいただきに行くこととなりました。

今まで餌やりを続けてきて、ネコにご飯をあげている傍らで大きな音をたてたり、石を投げたりする人。餌やりに対し文句を言いに来る人。前述した、「こうほく・人と生きもの・支えあう会」をしてくれた男性が、近所からの「ネコのことはかりして仕事をしていない」という苦情により、私の必死な説明も受け入れられることなく解雇させられたこともありました。そうした経験上、承諾を得るのは難しいのではないかと。そう思わざるをえなかなただけに、C 施設の方々がか快く許可してくださったときは正直少し驚きました。そして、ネコの餌やり場所が確保できただけでなく、こうした活動に理解を示してくださる方々が身近にいる事実、なんとも言えない気持ちがこみあげてきたのは今でも忘れられません。

数ヶ月かけてなんとかネコを移動させ、現在は C 施設の方々のご協力も得ながら餌やりする毎日を送っています。

思い返してみると、餌やりは沢山の方のご協力があったからこそ続けたのだと改めて実感しました。特に、C 施設で餌やりを始めてから、ネコが車や人に脅かされることなく安心してご飯を食べることができ、本当にほっとしています。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

しかし、自分の周りからネコがいなくなってくればそれで良い。そんな自分本位な考えから心ない行動や言葉を投げかける人は、残念ながら後を絶ちません。苦情を言うのであれば、本当にどうしていけば良いのか考えて欲しい。そう思うと同時に、野良ネコに関する手術・里親探しの活動をもっと色々な人に知っていただけよう、こちら側も務めなければいけません。まだまだ問題は尽きませんが、試行錯誤しつつゆっくりと解決もっていきたいと思います。◎





## 飼い主のいない猫を増やさないために

ようやく冬らしい寒さが訪れ、春が待ち遠しい今日この頃ですが発情期はすでにはじまっており、猫たちには一足先に春が訪れているようです。「小さいからまだ大丈夫」と思っている、オスもメスも生後半年程度で繁殖が可能になります。子猫が生まれてから焦るのではなく、早め早めの TNR<sup>1</sup> をおすすめします。

子猫が生まれた後は母猫の警戒心が強くなり、捕獲が難しくなりますし、子猫も生後 2～3 か月を過ぎると人になれにくくなり、せっかく保護しても新しいおうちを見つけるのが難しくなります。外で暮らす猫たちは、決して好きで暮らしているわけではありません。外で生まれたからそこで暮らしているだけで、根っからの野生動物ではないのです。

TNR 後、きちんと管理された場所で暮らす猫たちはまだ幸せですが、それでも交通事故、心ない人間からの暴力、ケガや感染症など、死の危険と隣り合わせです。定期的にご飯を貰っておらず、残飯を漁り汚れた水を飲まざるを得ない猫たちもいます。また、皮膚や被毛関連のトラブルを抱えた猫たちも悲惨です。毛玉だらけで身動き取れなくなった長毛の猫、アレルギー、疥癬など、人間と暮らしていたら薬や簡単なケアでどうにでもなることでも、外の猫たちにとっては本当に命取りになってしまうのです。

支えあう会では TNR や子猫保護のお手伝いをしています。

手術・保護をしたい方には、捕獲器の貸し出しをすると同時に、捕獲方法や TNR、子猫の新しいおうち探しに関するレクチャーなども行っています。外で暮らす猫を 1 匹でも減らしていくため、TNR へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(自己免疫性の皮膚疾患「天疱瘡」のツカサ君も、保護直後は悲惨な状態でしたがすっかりフワフワになり、ようやく退院することが出来ました！)。



## 正しい「猫バンバン」のやり方を知っていますか？

寒さの中、エンジンルームに入ってしまった猫を不幸にしないために



寒くなると外で暮らす猫たちがエンジンルームやタイヤの間に入ってしまうことがあります。気づかずにエンジンをかけてしまった…そんな悲しい事故を防ぐためにも、冬はクルマに乗る前に、ボンネットをバンバン…。「猫バンバン」という対策についてご存知の方は多いと思いますが、果たしてそのやり方で猫は本当に逃げていくのでしょうか？

猫を飼ったことのある方は想像がつくと思いますが、いきなりバンバンと大きな音がしたら猫はびっくりして固まってしまうたり、もっと奥の方にもぐってしまったりする可能性が非常に大きいです。「叩いて追出す」というイメージは大間違いなのです。

優しく叩いて少し音を出したら、その後はボンネットを開けてエンジンルームを実際に目で見て猫がいないこと確認しましょう。ホイールハウスや車の下の確認もお忘れなく！それでも 100%確実ではないので、車に近づけないための対策も肝心です。

叩けば大丈夫と過信せず、小さな命を守るために毎日の「ひと手間」をよろしくよろしくお願いいたします。



## 2019 年度「港北区猫ボランティア連絡会 第 2 回会議」のご報告

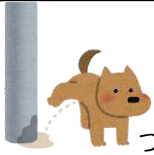
9 月 17 日に、港北区猫ボランティア連絡会の第 2 回会議が港北区役所で開催されました。港北区獣医師会、横浜市動物適正飼育推進員、横浜市動物愛護センター登録ボランティア、事務局として港北区生活衛生課が参加し、ボランティアのそれぞれの活動と地域の問題点など熱心な報告が行われる中で、TNR した猫たちの高齢化問題が取り上げられました。

行政が地域猫活動を推進し始めた際には、野良猫の寿命を数年と想定していたそうですが、十分な給餌と猫ハウスなどの避難場所がある場合は、10 歳以上という猫も珍しくないそうです。老いて弱ってきた猫はボランティアが保護し看取ることも多いと思いますが、その場合の費用はほとんどが個人の持ち出しで、負担が重くしかかっています。

TNR の不妊手術代については助成がある自治体も増えていますが、高齢化だけではなく病気やケガとの向き合い方についてはボランティアまかせというのが現状です。手術したらそれで終わりではなく、一代限りの命を全うする猫たちをどうサポートしていくのか、これから考えていかななくてはいけない大きな問題です。

(※11 月の第 3 回会議は、支えあう会は欠席しました。)

<sup>1</sup> 注：TNR：飼い主のいない猫を Trap (捕獲)，Neuter (不妊去勢)，Release (解放) の頭文字をとって TNR



## 管理人日誌 冬から春へ

ついこの間まで夏の花が元気に咲いていましたが、いきなり寒くなりました。外の猫たちには厳しい季節ですが、大倉山の梅の花はこのニュースレターが発行される頃には咲きそろい朝夕の香りが私たちを春めいた気分させてくれることでしょう。

管理人の暮らしと猫たちの暮らしを存続させるために重要なわが生業は忙しく、日々のエサやりが精いっぱい状況です。疲れ果ててエサやりをしていて気づいたことですがトイレ以外の場所でも用を足す勤務中の男性諸君が多いことです。少し歩けば公園のトイレやコンビニのトイレもあるのに、見たくない光景です。紙パンツをはいておきなさいと言いたいのですが、外で用を足すような人だから声掛けして逆切れされても、こちらもかなりおかしい人であるエサやり管理人は我慢しています。現場近くの家の人が猫の糞尿で臭いからとハーブ由来の消臭スプレーをかけているのですが、猫ではなく犯人は人間であることが判明しました。

3月は支えあう会も参加している大きな行事が2つあります。「第13回 小さなまちの小さな平和展」と「第13回 大倉山ドキュメンタリー映画祭」です。同封のチラシをご覧ください。会場

はボランティアを募集しています。平和展はギャラリー当番、映画祭は「社会福祉法人かれん」が担当するドキュメンタリーカフェでのコーヒーやケーキのサービスです。ぜひ応援してください。映画祭のおすすめは 3/28 (土) に上映する「東京干潟」です。多摩川河口近くのホームレスの男性が干潟でシジミの保存に配慮しながらシジミ採りをして、河口に捨てられる猫たちに食料をわけながら暮らしているのです。猫たちは愛護団体に去勢不妊の手術を施され、昨年秋の台風の際に男性の家は壊れましたが、無事避難して一頭もかけることがなかったと聞いています。壊れた家も応援団がたちまち再建してくれたそうです。高齢化、動物の遺棄、格差、オリンピックの開発など私たちの暮らしとは無縁ではない問題が浮き彫りにされている映画です。

今年の気候のペースでは映画祭の頃には大倉山の桜が美しく咲いていると管理人は予想します。ぜひ花の大倉山へお越しください。



大倉山公園自主管理人 新堂泰江



## エンジンルームで大ケガをした「ブラン君」を助けてください！

ブラン君は、マンションの植え込みの中で動けなくなっているところを保護されました。車のエンジンルームでベルトに巻き込まれたらしく、骨折し皮1枚で辛うじて繋がっていた両後脚は切断せざるを得ない状態でした。前足はなんとか無事でしたが、肉球と爪がほとんど無くなっており、お腹の皮膚と皮下組織は大きくはがれていました。

動物病院で緊急手術を行いなんとか一命はとりとめましたがお腹の皮膚が再生しない場合は弱って死んでしまう可能性が高い、と病院の先生から言われています。人間の火傷治療等に使う特殊なシートを使っでの治療を予定していますが、このシートが非常に高価であること、加えて毎日の処置では薬品や衛生用品も大量に必要で、回復するまでには数十万以上かかってしまうと思われます。回復した後も、しばらくは入院生活が続くのでそのための費用も必要となります。

人間のせいと負わせた怪我はなんとしても人間の力で治してあげなくては、と思います。皆さまからのご支援をお待ちしております。温かいお心をどうかブラン君にお寄せください。



◀シンカブルの一般寄付サイト  
キャンペーン・サイト▶



三菱東京 UFJ 銀行 大倉山支店 普通 0008270  
郵便振替 00270-6-54901

こうほく・人と生きもの・支えあう会



## 活動の足跡



### ●2019年8月

- ・7月から継続中の小机案件は相談者さんにて対象猫のTNR完了。
- ・神奈川県大田区の方から自宅に来る2匹の子猫の保護について相談。支えあう会のエリアではなかったがご縁のある方だったので保護してパティプロジェクトへ委託。2匹一緒に新しい飼い主へ。
- ・大田区ボランティアよりエサやり場に関する相談を受け、地域の福祉施設に相談してエサやり場を提供していただく。

### ●2019年9月

- ・樽町の方から自宅に来る3匹の子猫保護相談。2匹は即日保護。残り1匹は相談者が頑張る保護。3匹をラヴィ動物病院へ委託。3匹とも無事新しい飼い主へ。

### ●2019年10月

- ・「丘の上マルシェ」(新吉田の福祉施設「らいず」開催)にてTNRの啓発活動。
- ・昨年からの継続中の大倉山商店街案件は、今後は町内会主体で取り組んでもらうべく区役所の担当者を交えての話し合いに参加。

### ●2019年11月

- ・イオン「イエローシートキャンペーン」2019年上期贈呈式。
- ・師岡でアレルギーの猫を保護。ボランティア宅で療養中。

### ●2019年12月

- ・鶴見川(樽町ポンプ場付近)で子猫の目撃情報があり無事2匹を保護。パティどうぶつ病院に委託し新しいおうち探し中。

### ●2020年1月

- ・大倉山梅林サビ猫、オス猫たちから排斥されるのでボランティア宅保護。
- ・天疱瘡のツカサ君ようやく退院し、ボランティア宅で療養中。
- ・投薬量を減らして観察中だが掻き走り・掻き壊しもなく経過は良好。



## 会計報告とお礼

2019年8月～2020年1月末



銀行振り込みや郵便振替などでいつもご寄付をいただき感謝申し上げます。今年よりクレジットカード、や不要になったブランド品からもご寄付をいただけるようになり、既に多くの皆様よりご寄付を頂きました。直接お礼を申し上げるべきところ、紙面でのご挨拶をお許しください。また、お忙しい中お手渡しくださる皆様にも重ねてお礼申し上げます。

猫たちの餌代は原則ボランティアが各自負担していますので、ご寄付は猫たちの手術・治療、運搬、事務費などに使わせていただきます。誠にありがとうございます。

	収入	支出
2019/7月末繰越金	191,332	
寄付金	676,631	
会費	1,000	
市助成	15,000	
雑収(はがき販売)	1,100	
医療費		417,769
通信費		13,120
印刷費		10,630
雑費		1,597
保護猫委託費		40,000
小計	693,731	483,116
2020/1月末 残高		401,947

## イベントカレンダー



sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8 13:00-16:00	9 k	10 k	11 k	12 k	13 k	14
15	16	17	18	19	20 分の日	21
22 13:00-16:00	23	24	25	26	27	28 D
29 D	30	31				

- B** BUDDYプロジェクト「譲渡会」 場所：パティどうぶつ病院
- k** ちいさな町のちいさな平和展 場所：ギャラリーかれん
- D** 大倉山ドキュメンタリー映画祭 場所：大倉山記念館

## ご寄付のお願い

本誌で報告させて頂きました通り、見捨てる訳にも行かない保護猫の医療費の負担が大きく残高が心もとない状況です。ご支援、どうぞよろしくお願い致します。

### 【会費・寄付金振込先】

三菱東京UFJ銀行 大倉山支店 普通 0008270  
郵便振替 00270-6-54901  
こうほく・人と生きもの・支えあう会



### シンカブル寄付サイト

支えあう会の会費、単発の寄付、マンスリー寄付等、クレジットカードで支払い手続きが行えます。

よろしく  
お願いします。



### ブランド・プレッジ

家にある不要なブランド品ダンボールに詰めて送って寄付となります。



## ◎ 編集後記 ◎

仕事で-17℃の北海道羅臼町を訪れた。会食を終えて外に出るとふさふさのキタキツネが餌をねだっていた。こんな寒い所では野良猫は生きられないのだなと思いきや、先日、民放ラジオで安住アナウンサーが北海道での幼少期の思い出話をしていた。何年も極寒の冬を生き抜いた「芳一」という三毛猫は、その名の通り、耳が凍傷で無くなってしまっていて、まるでスコッティッシュフォールドのように顔が丸かったそうだ。暖をとるため停車したばかりの車を見定めていち早く下にもぐり込んでいたという。皆さん「猫バンバン」忘れずに！！  
ニュースレターのご意見・お問合わせは、編集担当:後藤尚味 ☒gotonaomi419@gmail.com まで◎

**BLOG** : <http://sasaeaukai.blog17.fc2.com/> **WEB** : <http://sasaeaukai.web.fc2.com/>

### ●こうほく・人と生きもの・支えあう会とは・・・

港北区で生活する人々や動物にとってやさしい地域をつくることをめざしています。  
具体的な活動内容は；①飼い主の居ない猫の不妊・去勢手術と保健衛生、②ファンドレイジング、③給餌活動、④啓発活動、⑤まちづくり、⑥広報。 当会では、随時会員を募集しています。